



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)

分科会へのご案内 (会員による自主講座)

第5回

ジョコンダ・デ・ヴィート (1907-1994) 全3回

その3 ロマン派音楽

デ・ヴィートの共演者には大物が多いのも特徴です。今回ご紹介するシュポアの作品では巨匠ユーディ・メニューインが第2ヴァイオリンを、ブラームスのソナタでは重鎮エドウィン・フィッシャーがピアノ伴奏を受け持っています。これにはデ・ヴィートの夫でありEMIの役員でもあるビッグネルのプロデューサーによることはいまでもありませんが、普通では考えられない組み合わせです。

またブラームスの協奏曲では、11年もの研鑽を積み1942年35歳、満を持してローマにデビューした時の曲で、一躍イタリアヴァイオリン界の女王として楽壇の寵児となりました。この曲の録音には、ベイヌム、フリッチャイ、シュヴァルツ等の指揮によるものもありますが今回はフルトヴェングラーの指揮でお聞きいただけます。



往年の女流
名ヴァイオリニストによる

演奏を聴く

ブラームスのソナタ及び協奏曲ではLPレコードでご鑑賞ください。

(使用機器)プレーヤー: DENON DP-59L

カートリッジ audio-technica AT33MONO

詳しくは分科会にてご説明します。どうかご期待ください。

演奏予定

シュポア :アレグロ (二重奏曲)短調作品67-3より (CDmono)

:ラルゲット(二重奏曲)二長調作品67-2より

:ロンド (二重奏曲)二長調作品67-2より

(2nd ヴァイオリン) ユーディ・メニューイン

ブラームス :ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト長調 作品78「雨の歌」(LPmono)

(ピアノ) エドウィン・フィッシャー

ブラームス :ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77 (LPmono ライブ)

(指揮) ヴィルヘルム・フルトヴェングラー (管弦楽) トリノ・イタリア放送管弦楽団

日時 / 2014年1月19日(日) 13:30~15:30

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全13回(予定)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>